

八幡平花暦

種目	5月		6月		7月		8月		9月			
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
● コメツガザクラ												
① ショウジョウバカマ												
● ノゴウイチゴ												
② ヒナザクラ												
● ツバメオモト												
③ イワナシ												
● ミズバショウ												
④ キヌガサソウ												
⑤ サンカヨウ												
⑥ ミツガシワ												
⑦ イワカガミ												
⑧ シラネアオイ												
⑨ チングルマ												
⑩ ハクサンチドリ												
⑪ ツマトリソウ												
⑫ イワハゼ												
⑬ ワタスゲ												
⑭ ミツガシワ												
⑮ ヒメシャクナゲ												
⑯ コバイケイソウ												
⑰ ウサギギク												
⑱ イワイショウ												
⑲ ゴゼンタチバナ												
● ギンショウソウ												
● オオバケシマラン												
⑳ クルマユリ												
● モミジカラマツ												
● シナノキノバイ												
● シラタマノキ												
㉑ ハチマンタイアザミ												
㉒ ニッコウキスゲ												
㉓ ムシトリスミレ												
㉔ アオノツガザクラ												
㉕ キンコウカ												
㉖ ヨツバシオガマ												
● ツルリンドウ												
㉗ オオタカネバラ												
● ミヤマキリシタン												
● オクトリカブト												
㉘ エゾヤマリンドウ												
㉙ ウメバチソウ												
㉚ タチギボウシ												

八幡平エリアでの目安です。



1 ショウジョウバカマ(シュロソウ科)
山野の少し湿った所に生える常緑の多年草(6~7月)



7 イワカガミ(イワウメ科)
高山の岩場や草地に生える多年草(6~7月)



13 ワタスゲ(カヤツリグサ科)
高山の湿地に群生する多年草(6~7月)



19 ゴゼンタチバナ(ミズキ科)
林の中に群生をつくる常緑小草木(7月上旬~7月中旬)



25 キンコウカ(キンコウ科)
多雨地の湿原に群生する多年草(7~8月)



2 ヒナザクラ(サクラソウ科)
東北の高山の湿った草地に生える多年草(6~7月)



8 シラネアオイ(キンポウゲ科)
亜高山の岩場や草地に生える(6~7月)



14 ミツガシワ(ミツガシワ科)
山地や沼や湿地に生える多年草の水生物(6~7月)



20 クルマユリ(ユリ科)
草地などに生える多年草(7~8月)



26 ヨツバシオガマ(ハマウツボ科)
高山のお花畑などに生える多年草(7~8月)



3 イワナシ(ツツジ科)
低山帯から高山に生える常緑の小低木(6~7月)



9 チングルマ(バラ科)
亜高山の砂れき地に生える小低木(6~7月)



15 ヒメシャクナゲ(ツツジ科)
高山帯の湿った草地に生える(6~7月)



21 ハチマンタイアザミ(キク科)
八幡平地域に生育し地元では「虫とりアザミ」と呼ばれている(7~8月)



27 オオタカネバラ(バラ科)
藪の中に多く生息し、大輪の花を咲かせる。野生の赤いバラは希少(7月下旬)



4 キヌガサソウ(シュロソウ科)
低山帯の半日陰に生える多年草(6~7月)



10 ハクサンチドリ(ラン科)
高山帯のやや湿った草地に生える多年草(6~8月)



16 コバイケイソウ(シュロソウ科)
高山帯の日当たりの良い湿潤な草地に生える多年草(6~7月)



22 ニッコウキスゲ(ススキノ科)
草原に群生する多年草。1日1花朝開いた花は夕方にはしぼむ(7~8月)



28 エゾヤマリンドウ(リンドウ科)
エゾリンドウの高山型。湿地に生える(8~9月)



5 サンカヨウ(メギ科)
林の下に生える多年草(6~7月)



11 ツマトリソウ(サクラソウ科)
亜高山に生える小型の多年草(6~7月)



17 ウサギギク(キク科)
高山帯の湿った草地に生える多年草(6~7月)



23 ムシトリスミレ(タヌキモ科)
スミレのような花を咲かせます。葉の内側の腺毛から粘液を出して虫を捕らえる(7月中旬)



29 ウメバチソウ(ニシキギ科)
草地や林の日当たりの良いところに生える多年草(8~9月)



6 ミツバオウレン(キンポウゲ科)
亜高山帯の林床に生える常緑多年草(6~7月)



12 イワハゼ(ツツジ科)
湿った草地に生える常緑小低木(6~7月)



18 イワイショウ(ミツガシワ科)
高山帯の湿った草地に生える(6~7月)



24 アオノツガザクラ(ツツジ科)
斜面の岩陰などに生える常緑小低木(7月)



30 タチギボウシ(キジカクシ科)
高層湿地に群生する多年草(8~9月)

花の百名山 八幡平 自然散策マップ



ナショナルパーク八幡平



八幡平山頂レストハウス

4月中旬から11月上旬まで営業
売店 / 午前9時~午後5時
食堂 / 午前10時~午後4時 (ラストオーダー3時30分)
(夜間通行止期間は、午後4時30分閉店)



お問合せは

岩手県八幡平市
(一社)八幡平市観光協会
〒028-7303 岩手県八幡平市柏台1-28
TEL 0195-78-3500
FAX 0195-78-3838
時間 9:00~17:00
12月29日~1月3日を除く
URL <https://www.hachimantai.or.jp/>
E-mail kanko@hachimantai.or.jp

(令和7年6月)

八幡平自然散策マップ

- 一般道路
- トレッキングコース
- 所要時間ポイント
- 県境線・市町村境
- 展望所
- バス停
- トイレ
- 駐車場
- 食事処
- 温泉
- 湿原



御在所沼・赤沼(五色沼)コース

春から秋を彩る湿生植物の中に浮かぶ御在所沼と五色沼。特に五色沼は、水が絶えず湧いているため氷点下30度でも凍りません。また、鉄分を多く含んだ水がバクテリアと大気中の酸素の作用により酸化され、水の色を変えることで「五色沼」と呼ばれています。

御在所沼 25分(800m) → 赤沼(五色沼) 20分(700m) → イワイチョウ

御在所 御在所原 御在所スノーシェルター 松尾八幡平地熱発電所 御在所スノーシェルター 御在所

ミズバショウ ワタスゲ ニッコウキスゲ ヒメジャクナゲ エゾヤマリンドウ

至東北自動車道



茶臼岳からの眺望 晴れた日には麓が一望でき、雲海が見られることもある

八幡平自然散策トレッキングコース

鏡沼・ガマ沼周回コース

(約60分約2.5キロ)
 (県境登山口～鏡沼～八幡平頂上～八幡沼・ガマ沼展望台～見返峠～県境登山口)
 最もポピュラーなコース。アオモリドマツの大原生林、岩手山をはじめとする雄大な景観が一望できます。

黒谷地湿原コース

(約130分約5キロ)
 (黒谷地/バス停～源太森～八幡平頂上～鏡沼～県境登山口)
 7月にはワタスゲやニッコウキスゲが鮮やかに湿原を彩ります。熊の泉と呼ばれる水場あり。カオジロトンボなど珍しい昆虫類が見られることでも知られています。

源太森コース

(約115分約5.2キロ)
 (県境登山口～鏡沼～八幡平頂上～八幡沼～源太森～八幡沼キスゲ通り～見返峠～県境登山口)八幡沼周回コースから足を伸ばして源太森へ、なだらかな山容の八幡平と八幡沼、岩手山などが一望できます。

茶臼岳・黒谷地湿原コース

(約210分約7キロ)
 (茶臼口/バス停～茶臼岳～黒谷地湿原コース)
 八幡平三大展望地のひとつ茶臼岳と黒谷地湿原コースを組み合わせたもの。茶臼岳山頂からは岩手山が大きく見えます。



熊沼

トレッキング マナーとルール

- 登山道以外へは立ち入り禁止
- ペットの同伴はご遠慮下さい。(糞や病原菌による野生動物への影響が心配されます。)
- 高山植物は「採らない」「踏まない」を守りましょう。
- ゴミは持ち帰りましょう。